



## 2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月7日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 東

コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経営企画部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2020年1月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	11,237	14.4	354	34.1	366	33.3	122	53.8
2019年5月期第2四半期	9,820	10.5	538	43.2	550	46.5	265	33.5

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 137百万円 (49.9%) 2019年5月期第2四半期 274百万円 (26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	15.76	
2019年5月期第2四半期	32.04	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	19,765	3,346	16.9	429.85
2019年5月期	19,862	3,351	16.9	430.47

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 3,346百万円 2019年5月期 3,351百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		18.31	18.31
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				32.65	32.65

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,705	12.7	236	28.2	333	33.2	847	72.4	108.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規1社 (社名 株式会社ヒューマンライフ)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期2Q	8,396,000 株	2019年5月期	8,396,000 株
期末自己株式数	2020年5月期2Q	610,258 株	2019年5月期	610,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期2Q	7,785,742 株	2019年5月期2Q	8,286,195 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移したものの、不安定な国際情勢の影響により、先行きは不透明な状況にあります。

教育・保育については、2020年度の大学入試制度改革の方針転換や幼児教育・保育の無償化などにより、社会的関心が高まっております。また、高齢化社会の継続した進展により、高齢者向けのサービス需要の拡大が続いております。

当社グループにおいては、長期的に発展し、時代の流れと社会の要請に対応するため、積極的な事業領域の拡大を行っており、当社グループを安定的に支える教育サービスにとどまらず“人の一生に関わる「一生支援事業」を展開する企業へ事業の拡大をすすめております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は11,237百万円（前年同期比14.4%増）となり、前年同期に比べ1,417百万円増加しました。営業利益は354百万円（同34.1%減）となり、前年同期に比べ183百万円減少しました。経常利益は366百万円（同33.3%減）となり、前年同期に比べ183百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は122百万円（同53.8%減）となり、前年同期に比べ142百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

## &lt;学習塾事業&gt;

学習塾事業においては、脳科学に基づく独自の学習法「リーチングメソッド」や新学習指導要領に対応したプログラム等により、少子化の環境の中でも2019年春の集客では生徒数が前年を上回りました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高5,582百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益1,122百万円（同5.8%増）となりました。生徒数（フランチャイズ事業における末端生徒数含む）の増加（同2.9%増、前年同期に比べ773人増加）により、増収増益となりました。

## &lt;語学関連事業&gt;

英会話事業においては、幼児から小学校低学年までを主な対象とするユニバーサルキャンパスで生徒数が増加し増収となりました。国内10校の日本語学校を運営する日本語教育事業では、入管審査厳格化の影響で2019年夏の留学生数が予定数を下回り利益が伸び悩みましたが、2019年秋以降回復しており、下半期は計画通りの学生数となる見込みです。国際人材交流事業では、中国及びミャンマー国内で技能実習生や特定技能での就職を目指す人材に向けた日本語教育を行っており、支払手数料等の費用減少により利益が改善しました。また、キャリア支援事業部においては、2019年11月に人材紹介業を運営している株式会社ヒューマンライフを子会社化し、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の増加（前年同期比24.7%増、前年同期に比べ1,411人増加）により売上高1,689百万円（同36.6%増）となりましたが、各事業における費用増加の影響でセグメント損失169百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

## &lt;保育・介護事業&gt;

保育事業においては、72園の保育園を運営しており、園児数は計画通り推移しております。人件費増と2020年春開園に向けた採用数の拡大による採用費の増加の影響で費用が増加しました。介護事業では出店及び補助金増により、増収増益となりました。介護事業とのシナジー効果を見込んで2019年4月に子会社化した株式会社リッチへのPMIを進めていく中で、内部統制の整備、人件費の見直しを行い費用が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高3,963百万円（前年同期比27.1%増）、セグメント利益2百万円（前年同期は46百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、19,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円減少しました。流動資産は、4,327百万円となり前連結会計年度末に比べ518百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少570百万円等です。固定資産は15,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円増加しました。有形固定資産は、10,455百万円（前連結会計年度末に比べ405百万円増加）となりました。主な要因は、建物及び構築物（純額）の減少106百万円、建設仮勘定の増加577百万円等です。無形固定資産は、2,289百万円（前連結会計年度末に比べ112百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少90百万円等です。投資その他の資産は、2,693百万円（前連結会計年度末に比べ127百万円増加）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の増加96百万円等です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、16,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ、93百万円減少しました。流動負債は、7,650百万円となり前連結会計年度末に比べ157百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の減少216百万円、未払金の増加275百万円、その他の増加102百万円等です。固定負債は8,768百万円となり、250百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少274百万円等です。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少19百万円、その他有価証券評価差額金の増加5百万円、退職給付に係る調整累計額の増加6百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から変わらず16.9%となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより2,634百万円となり、前第2四半期連結会計期間末に比べ、11百万円増加しました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益347百万円、減価償却費370百万円、のれん償却額160百万円、未払金の増加218百万円、法人税等の支払額280百万円等が発生しました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、1,010百万円の収入（前年同期は823百万円の収入、前年同期に比べ186百万円の収入増加）となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出673百万円、敷金及び保証金の差入による支出102百万円等が発生しました。この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、818百万円の支出（前年同期は570百万円の支出、前年同期に比べ247百万円の支出増加）となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額216百万円、長期借入れによる収入800百万円、長期借入金の返済による支出1,144百万円、配当金の支払額141百万円が発生しました。この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、743百万円の支出（前年同期は295百万円の支出、前年同期に比べ448百万円の支出増加）となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期通期（2019年6月1日～2020年5月31日）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「2020年5月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,516,560	2,946,059
売掛金	617,088	661,868
商品	66,440	60,766
貯蔵品	15,942	16,573
その他	665,244	684,258
貸倒引当金	△35,547	△42,430
流動資産合計	4,845,728	4,327,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,271,599	5,165,102
土地	2,780,657	2,779,904
リース資産(純額)	1,653,802	1,622,769
建設仮勘定	324	577,388
その他(純額)	343,756	310,029
有形固定資産合計	10,050,139	10,455,193
無形固定資産		
のれん	2,134,464	2,043,548
その他	266,913	245,792
無形固定資産合計	2,401,377	2,289,340
投資その他の資産		
投資有価証券	145,701	153,263
繰延税金資産	830,013	851,463
敷金及び保証金	1,411,909	1,508,693
その他	179,984	181,724
貸倒引当金	△1,872	△1,721
投資その他の資産合計	2,565,735	2,693,423
固定資産合計	15,017,253	15,437,958
資産合計	19,862,981	19,765,055

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	81,188	85,112
短期借入金	3,000,000	2,783,940
1年内返済予定の長期借入金	1,356,569	1,345,917
リース債務	72,833	74,550
未払金	574,543	850,317
未払法人税等	336,495	337,470
前受金	1,012,301	998,735
賞与引当金	114,519	123,810
資産除去債務	4,540	8,509
その他	939,739	1,041,896
流動負債合計	7,492,732	7,650,260
固定負債		
長期借入金	4,561,010	4,286,600
リース債務	1,777,869	1,755,151
退職給付に係る負債	1,690,964	1,752,192
役員退職慰労引当金	200,384	210,232
資産除去債務	243,031	242,294
繰延税金負債	463,193	429,392
その他	82,231	92,236
固定負債合計	9,018,687	8,768,101
負債合計	16,511,420	16,418,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	3,447,122	3,427,248
自己株式	△695,920	△695,920
株主資本合計	3,343,049	3,323,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,029	35,490
為替換算調整勘定	50,505	53,517
退職給付に係る調整累計額	△72,024	△65,489
その他の包括利益累計額合計	8,511	23,517
純資産合計	3,351,560	3,346,693
負債純資産合計	19,862,981	19,765,055

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	9,820,223	11,237,833
売上原価	7,442,675	8,687,712
売上総利益	2,377,548	2,550,120
販売費及び一般管理費	1,839,131	2,195,142
営業利益	538,416	354,978
営業外収益		
受取利息	408	917
受取配当金	1,735	1,794
為替差益	4,622	—
貸倒引当金戻入額	—	479
補助金収入	53,165	65,001
雑収入	14,311	18,755
営業外収益合計	74,244	86,948
営業外費用		
支払利息	60,075	64,763
為替差損	—	8,668
貸倒引当金繰入額	122	—
持分法による投資損失	209	1,333
雑損失	1,842	269
営業外費用合計	62,250	75,033
経常利益	550,411	366,893
特別利益		
投資有価証券売却益	—	189
特別利益合計	—	189
特別損失		
減損損失	13,599	12,432
固定資産除却損	0	55
投資有価証券評価損	5,189	—
訴訟関連損失	—	7,000
特別損失合計	18,788	19,488
税金等調整前四半期純利益	531,622	347,594
法人税、住民税及び事業税	321,240	285,365
法人税等調整額	△55,140	△60,453
法人税等合計	266,100	224,911
四半期純利益	265,522	122,683
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,522	122,683

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	265,522	122,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	5,460
為替換算調整勘定	6,206	2,910
退職給付に係る調整額	3,706	6,534
持分法適用会社に対する持分相当額	△520	101
その他の包括利益合計	9,338	15,006
四半期包括利益	274,861	137,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,861	137,689

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	531,622	347,594
減価償却費	290,591	370,994
減損損失	13,599	12,432
のれん償却額	111,639	160,210
長期前払費用償却額	10,266	11,765
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48,633	70,628
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,287	9,847
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,184	8,778
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,559	6,684
受取利息及び受取配当金	△2,144	△2,711
支払利息	60,075	64,763
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,189	—
固定資産除却損	0	55
補助金収入	△53,165	△65,001
持分法による投資損益 (△は益)	209	1,333
売上債権の増減額 (△は増加)	△55,481	△42,917
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,362	5,008
前受金の増減額 (△は減少)	69,076	△1,585
仕入債務の増減額 (△は減少)	△668	9,140
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△40,518	44,179
未払金の増減額 (△は減少)	28,981	218,803
未払費用の増減額 (△は減少)	100,787	65,171
その他	△71,607	33,533
小計	1,071,480	1,328,708
利息及び配当金の受取額	1,772	2,673
利息の支払額	△60,309	△64,727
法人税等の支払額	△216,011	△280,249
補助金の受取額	26,609	23,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	823,541	1,010,076

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△26,400	△26,400
定期預金の払戻による収入	—	37,265
有価証券の取得による支出	△39,999	—
有形固定資産の取得による支出	△290,161	△673,418
無形固定資産の取得による支出	△25,213	△20,886
敷金及び保証金の差入による支出	△22,013	△102,778
敷金及び保証金の回収による収入	5,179	2,632
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△160,735	△6,942
長期前払費用の取得による支出	△11,061	△30,205
資産除去債務の履行による支出	△2,940	△1,600
その他	2,984	4,110
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△570,361</b>	<b>△818,222</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	△216,060
長期借入れによる収入	1,260,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△628,091	△1,144,853
リース債務の返済による支出	△31,055	△40,887
自己株式の取得による支出	△418,555	—
配当金の支払額	△77,319	△141,851
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△295,021</b>	<b>△743,652</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,105	△7,410
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△40,735</b>	<b>△559,209</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,663,008	3,193,445
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>2,622,273</b>	<b>2,634,236</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,464,391	1,236,723	3,119,108	9,820,223	—	9,820,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,464,391	1,236,723	3,119,108	9,820,223	—	9,820,223
セグメント利益又は損失 (△)	1,060,774	△6,913	46,920	1,100,781	△562,364	538,416

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△562,364千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△599,520千円及びその他の調整額37,156千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,582,837	1,689,667	3,963,406	11,235,912	1,920	11,237,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,582,837	1,689,667	3,963,406	11,235,912	1,920	11,237,833
セグメント利益又は損失 (△)	1,122,221	△169,401	2,479	955,300	△600,322	354,978

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△600,322千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△654,518千円及びその他の調整額54,196千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年3月1日付にて行った組織変更に伴い、前連結会計年度より調整額に含まれていた「株式会社アルファビート」を「語学関連事業」セグメントに含めて開示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。